

9月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
06/09/01 (金)	東京は夜半に米雇用統計の発表を控えていることであってか売買手控えムード。ユーロドルなどもレンジ。欧米は発表された米指標を巡り右往左往。雇用統計は若干良かったがISM指数などは悪化し売り材料。	・第2四半期GDP改定値0.9%、7月のGDP失業率7.8% ・8月の米失業率4.7%、同非農業者雇用数12.8万人、同ミシガン消費者信頼感指数82.0、同ISM製造業景気指数54.5、7月の建設支出 1.2%	・ECB総裁「短期のEU経済見通しは良好」	117.42 117.06 117.49 117.10	150.42 149.66 150.50 150.36	寄付 安値 高値 終値
06/09/04 (月)	東京は株価の大幅高もあり円買い優勢。薄商いのなかドルを含めた円買戻しが優勢。欧米でも円は統伸、ドル/円はついに115円台へ。新規材料ないなか調整の円買いが終始優勢だった。	・仏中銀報告「インフレが世界的に台頭する兆し」 ・NY市場が休場		116.85 115.88 116.92 116.10	150.21 149.06 150.24 149.42	寄付 安値 高値 終値
06/09/05 (火)	東京で引き続き円強含み、ドルを中心とした円買い止まらず。キウイなど高金利通貨に対してもしかり。欧米はさすがに調整と思いきや売りも見られたが温首相発言を受けて終盤再び円買い強まる。	・OECD「FRBは一段の利上げが必要になる可能性」	・SL連銀総裁「インフレはかなりコントロールされている」 ・温中国首相「人民元は徐々に上昇していく」	116.08 115.57 116.19 116.08	149.27 148.25 149.27 148.78	寄付 安値 高値 終値
06/09/06 (水)	東京はご祝儀買いが期待されたが逆に円売りが進む展開。軽い損切りを巻き込みつつ円安進行。欧米は円が統落。一方でドル買いも徐々に散見される展開で対ユーロなどでもドル小じっかり。	・秋篠宮妃紀子様が男児御出産 ・第2四半期米農産物部門労働生産性1.6%、8月のISM非製造業景気指数57.0 ・米地区連銀報告「個人消費はほとんどの地域で上昇ペース緩慢」	・安部官房長官「いまの段階でインフレ懸念はない」	116.02 115.97 116.90 116.64	148.68 148.66 149.43 149.36	寄付 安値 高値 終値
06/09/07 (木)	東京はとくに目立った材料はないものの円売り優勢でドル/円相場は117円直前まで。欧米は円安で寄り付くもドル発言を受けて一気に急騰。その後否定的な発言続くと円は小じっかり。	・8月末外貨準備高8787.48億ドル、7月景気先行指数40.0% ・BOEが金利据え置きを発表	・シロ独財務次官「G7では円の弱さを議論する見通し」 ・渡辺財務官「G7で為替の議論が中心になるとは思っていない」 ・カナダ財務相「G7で円を議論するとは聞いていない」	116.60 115.98 117.06 116.43	149.45 147.84 149.80 148.23	寄付 安値 高値 終値
06/09/08 (金)	東京は翌週末のG7を巡り思惑交錯し右往左往の展開。ただ基本的には円売り難い雰囲気。欧米もG7祝いの展開となるなか、米財務長官発言などもありドル買い優勢ムード。	・9月の日銀金融月報「景気は緩やかに拡大、足元の判断は据え置き」	・日銀総裁「最近のユーロ/ドル相場、実効レートでは大きな変化なし」 ・米財務長官「強いドルは非常に好ましい」 ・ECB総裁「ユーログループは弱い円に関して話し合った」	116.33 116.10 117.02 116.93	148.08 147.56 148.33 148.23	寄付 安値 高値 終値
06/09/11 (月)	東京は発表された機械受注の悪化を受けて円売り優勢。ドル/円は前週まで重かった117円台へ。欧米出円は統落。ドル/円は117円台後半も、ユーロ/円もしかりで円は再び全面安の様相に。	・第2四半期GDP改定値0.2%、7月の機械受注 16.7% ・7月英貿易赤字 63.38億ポンド ・OPEC総会で公式生産枠の据え置き決定 ・米同時多発テロから5周年	・中国人民銀総裁「中国は外準を十分に保有している」 ・フラット米財務省報道官「我々は中国と幅広い問題で協議しており、為替はそのひとつに過ぎない」	116.77 116.61 117.78 117.68	147.95 147.76 149.49 149.48	寄付 安値 高値 終値
06/09/12 (火)	東京は円安の流れそのものは継続ながら調整的な動きが先行。ドルもやや円高気味の推移となった。欧米は史上最悪となった米貿易赤字にもかかわらずドル底堅い。むしろ対円では118円のリア突破も。	・7月の米貿易赤字 680億ドルで過去最大、対中 195.75億ドル、対日 75.74億ドル	・谷垣財務相「G7では為替に対し共通の理解がある」 ・G7案「為替に関する部分は空白で調整中」 ・スイス中銀理事「スイス経済は周期的にピークに達した」	117.57 117.39 118.15 117.95	149.31 149.19 149.78 149.65	寄付 安値 高値 終値
06/09/13 (水)	東京は円小幅安。発表された経常収支などはとくに悪い内容ではなかったものの円売りの流れ継続。欧米はユーロ小じっかり。ドル/円発言から円買いでスタート。しかしウクライナ発のコメントなどもあり流れ変わる。	・7月の経常収支1兆8096億円、同貿易収支9509億円 ・ウクライナ発で「外準においてユーロを増やすだろう」とのコメントあり	・水野日銀審議委員「事態は日銀のシナリオ通り」 ・米財務長官「中国は市場改革が必要」 ・米財務省高官「G7で特別な声明が出される可能性は少ない」	117.87 117.33 118.03 117.68	149.48 149.05 149.75 149.32	寄付 安値 高値 終値
06/09/14 (木)	東京はG7での円安は正合意の期待感が剥げ落ちつつあることから円が済えない。NZドルの一人勝ち。欧米は結果ユーロ高。ドルも円も積極的には買い難いなか、消去法的にユーロなど欧州通貨が嗜好された。	・NZが金利据え置き決定、ただ声明で「これ以上の引き締めが必要がないとの確信が持てない」と強気コメント ・SNBが25BPの金利引上げ ・8月の米小売売上高0.2%	・G7筋「世界不均衡に関する追加声明はでない公算」 ・アルムア欧州委員会委員「為替市場における過剰な変動は避ける必要がある」	117.45 117.30 117.77 117.60	149.14 149.05 149.87 149.65	寄付 安値 高値 終値
06/09/15 (金)	東京は週末トート日ということでもドルだけでスタートするも3連休前の調整売りなどに弱含み。欧米はユーロを中心に荒れ模様。G7における思惑交錯し、対円ではNYだけで1円を超える上下動を達成。	・8月の米CPIは0.2%、同鉱工業生産0.1%、同設備稼働率82.4%、9月のミシガン消費者信頼感指数84.4、同NY連銀製造業景気指数13.8	・9月の月例経済報告、デフレ脱却判断見送るがデフレの文言は削除 ・中国人民銀総裁「人民元相場の変動幅は遅かれ早かれ拡大」	117.68 117.25 118.12 117.55	149.72 148.35 149.82 148.88	寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで